



あつまる つながる まとまる 大いなる田園のまち あつま

広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2023

1

NO.845





こんなことがありました

令和4年の厚真

1月 9日 第74回厚真町成人式
11日 第4回厚真にぎわい会議開催

2月 5日 コロナ禍でスターフェスタとランタン祭りは中止し同祭り実行委員会有志がアイスランタン約2000個飾る

3月 8日 令和4年町議会第1回定例会
29日 少額短期保険ハウスガードと町が森林再生に向けた連携協定締結

4月 1日 まちなか交流館しゃべーるの指定管理者が変わり新たに地域活動支援センターを設置
6日 「ゼロカーボンシティあつま」を宣言 2050年二酸化炭素排出量ゼロを目指す
13日 広報あつま5月号からフルカラー印刷に刷新

5月 21日 旧山口邸と旧幅田邸の古民家見学会を開き町内外の33人が参加

6月 10日 君の椅子贈呈式で、贈呈した椅子が100脚を突破し累計111脚に
16日 令和4年町議会第2回定例会（～17日）

7月 24日 道内初のNSA（日本サーフィン連盟）公認大会「厚真町長杯」が浜厚真海浜公園で開催され、全国から出場した約80人が熱戦
25日 道内外のサッカー強豪校やクラブチームによる「第1回北の大地ユースサッカー大会」が浜厚真野原公園サッカー場で開催
30日 第50回あつま田舎まつり3年ぶり開催（～31日）

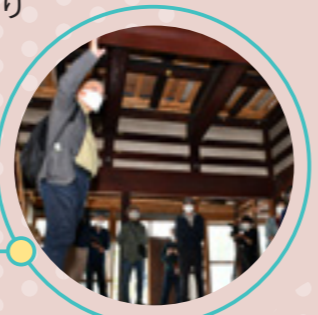
8月 7日 上厚真小学校をメイン会場に総合防災訓練を実施 42世帯80人が、指定避難所での段ボールベッドの設営、初期消火、応急処置、炊き出しなど体験

9月 3日 令和4年北海道胆振東部地震厚真町追悼式

10月 28日 町内で高病原性鳥インフルエンザが発生 約16万羽を殺処分（11月25日にすべての防疫措置を終了）

11月 3日 令和4年厚真町文化祭を開催（～4日）
14日 幌内神楽保存会が北海道文化財保護協会から令和4年度道文化財保護功労者表彰を受賞

12月 13日 令和4年町議会第4回定例会（～14日）



ひとのうごき

人口 4,382人 (-1)
男 2,206人 女 2,176人

世帯数 2,131世帯 (-1)
令和4年12月11日現在 ()内は前月比

12月1日～11日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

厚真町公式SNS



お知らせや最新情報を発信しています！

広報あつまはインターネットでも！

厚真町ホームページ
トップページ下部のバナーから
広報あつま

Hokkaido ebooks
エリアで探す→胆振→厚真町

広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2023

1

NO.845

- 2 ひとのうごき
- 3 令和4年の厚真
- 4-5 年頭のごあいさつ
- 6-7 町からのお知らせ
- 8 まちの話題
- 9 虫歯のない子どもの表彰式
- 10 防災のページ
- 11 住宅用火災警報器を設置しましょう 气象台ノート
- 12 厚高インフォノよりみち通信
- 13 地域おこし協力隊
- 14-15 保健の掲示板
- 16 健康情報
- 17 子育て支援センター まちのアイドル こぶしの湯あつま
- 18 放課後児童クラブ・放課後子ども教室 令和5年度利用登録開始 将来の夢
- 19 情報ひろば
- 20 ATSUMA LOVERS

COVER 今月の表紙



読み上げられた下の句に合わせ、50枚の木の取り札を取り合う百人一首が、11月4日に中央小学校の体育館で行われていました。

対戦していたのは、放課後児童クラブの子どもたち。支援員が下の句を読むと、子どもたちは前かがみのまま手を伸ばし、素早く木札を弾きました。



復興への局面を拓く年に
厚真町長 宮坂尚市朗

2023年の新春を迎えるにあたり、町民の皆さまに謹んでごあいさつ申し上げます。旧年中は、皆さまから町政諸般にわたり特段のご理解ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本町に未曾有の災害をもたらした平成30年北海道胆振東部地震から既に4年4カ月が経過しました。町内では、人里に近い急傾斜地の安全確保、直轄砂防施設、治山施設の建設、浄水場、橋梁、道路などの社会基盤や宅地、農地、灌漑施設などのインフラの復旧工事は、既にほぼ完了し、残る工事も町施工の一部工事を除き新年度中には完了します。このような状況の中、3000haを超える被災森林の再生が課題となっ

ていますが、令和8年度までを重点期間としてこれまでの取り組みを更に加速させてまいります。全国的にも日本の災害史に記録される規模での取り組みとなりますので、関係機関、関係者の皆さまには、ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

災害復旧が進み、本町は、復興への取り組みにも挑戦を始めています。庁舎周辺整備や防災減災対策、自然災害被災地ならではのエネルギー地産地消や省エネルギー・創エネルギー・吸収源対策を官・民・学で総合的に取り組んでいくゼロ・カーボン施策の推進、一次産業を中心にIoT、ICTの推進とグリーン×グリーン×デジタル政策を展開し、「決して諦めないまち」へと「挑戦」をキーワードに歩みを進めています。民間が進めている陸上設置型風力発電事業の環境影響評価は、北海道と連携して注視しているところですが、ゼロ・カーボンタウンの構想実現に向けた民間からのアプローチには手ごたえを感じています。

未曾有の困難にあっても、町民一人ひとりの災害に立ち向かう姿勢とご理解ご協力により、ここまで復旧を進めることができましたが、一方で、被災された町民の皆さまが抱える不安、悩みはこの短期間では、決して癒えるものではありません。そ

れぞれの不安をできるだけ軽減し、個々の課題解決のため関係機関や町民のご協力をいただきながら、被災者に寄り添い誰一人として取り残すことのない復旧・復興を目指して努力を続けてまいります。また、震災記憶を風化させることのないよう、

これからも多くの教訓と復旧・復興の記憶や経験を町内外で共有し、継承していかなければなりません。日本海溝・千島海溝沿いを震源とする巨大地震による被害想定は、北海道民に大きな衝撃を与えましたが、今後も、命を守る防災・減災対策に全力で取り組んでまいります。

国際情勢における安全保障への不安、燃料や資材をはじめとする資源・エネルギー価格の高騰、大幅に進む円安などが、私たちの生活や経済活動に新たな困難をもたらしています。また、水田活用の直接支払交付金の取り扱いに端を発した農業政策の大幅見直しは、砂糖生産や畑作物の直接支払交付金など、多方面へと急激な広がりを見せており、消費低迷と生産コストの暴騰に苦しむ農業者にとって再生産意欲の減退に繋がるのではないかと危惧しています。

度重なる災禍、内憂外患の難局にある今日ですが、厚真町は基礎自治体として如何なる時も町民とともにあります。基幹産業の安定と本町の

命題である復旧・復興を第一に、その先にある創生への道と持続的発展、本町が目指す将来像「あつまる・つながる・まとまる、大いなる田園のまち」の実現に向け、恐れず誠実に時代と向き合ってまいります。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの暮らしは大きな制約を強いられてきました。未だ感染拡大の収束が見通せない状況にありますが、町民の皆さまには引き続き基本的な感染予防を徹底していただくようご理解ご協力をお願いします。

一方で、新しい生活様式や働き方の定着と一極集中の是正、グリーン・トランスフォーメーションやデジタル・トランスフォーメーションの推進により、経済社会システム全体の変革が進んでおり、ウィズ・コロナ、ポスト・コロナ社会では、成長を追い求める消費型から変化への対応力、強靱性・復元性を備えながら、自然資本を活かした循環型社会への転換と自発的な防災意識社会への変容が求められています。

震災から5年という節目を迎える本年が、復旧から復興へと新しい局面を拓く「飛躍・向上」の年となることを願い、あわせて町民の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



努力が花開き、実り始める年に
厚真町議会議長 渡部 孝樹

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。

皆さまには輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

旧年中は日ごろから町議会に対し温かいご支援、ご指導を賜り心から厚くお礼を申し上げます。

さて、令和4年の世相を表す漢字は「戦」でした。北京冬季五輪やワールドカップサッカーの熱い戦いと感動を享受した年でもありました。

また、3年を超える新型コロナウイルス感染症は収束と拡大を繰り返しいまだ終わりが見えない状況であ

り、経済活動や社会生活に大きな影響をおよぼしております。このようなか中、新たな変異株が確認され、感染の拡大など不安な状態に変わりはなく、予断を許さない状況が続いております。一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を願うと共に、一人ひとりの感染症対策が収束への近道だと思っております。

改めて、新型コロナウイルスに感染された方々やそのご家族、不安のなかにおられる皆さまに対して、心からお見舞いを申し上げます。

また、このような局面において、長期にわたって献身的に対処いただいている町内医療従事者の方々にかれましては、この感染症の多岐にわたる課題へのご尽力に対して、町議会を代表して、心から敬意と感謝の気持ちを表します。

令和4年2月に始まったロシアによるウクライナ侵略による海外情勢の変化は、エネルギー価格や物価の高騰、さらには歴史的な円安により地域住民の暮らしに甚大な影響をおよぼし、いまだに疲弊の一途をたどる暗いニュースが影を落とすとしていまま。一方、町内では3年ぶりに「第50回あつま田舎まつり」が開催でき、皆さまが家族ぐるみで交流を深めていただき、ステージイベントや舌鼓

を打つ草原焼きなど、厚真町最大のお祭りが盛大に繰り広げられました。さらに、町民の皆さまの各分野での活躍や努力の成果を一堂に集めて、多くの方々に参加した「厚真町文化祭」が開催できましたことは大変喜ばしいことでもあります。

さて、昨年に岸田内閣が打ち出した物価高・円安への対応、構造的な賃上げ、成長のための投資と改革に向けた「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」が、今後どのように反映されていくのか、その動向に期待し注視していく必要があるります。

一方、町内においては、北海道胆振東部地震から5回目の春を迎え町の姿も環境も大きく変わり始めております。厚真ダムは復旧工事が進み今年度は試験湛水を行い、今年から来年度にかけて順次供用開始になると聞いております。これにより、厚幌ダム、勇払東部導水管と長きにわたり懸案事項だった厚真の水問題も一部を除き解決することになり、基幹産業である農業が安定して営農できるように環境は整います。震災前よりも各地域の農地が黄金色になる事を期待しております。

また、議会としましては執行機関とともに二元代表制の一翼を担う議

会が果たすべき役割や責務はこれまで以上に重要となっております。本議会においても、執行機関の監視およびけん制はもとより、町民参加を基本に町民の代表として自由闊達な議論を交わし、十分な審議および審査を尽くし、町民の多様な意見の把握に努め、町民にとって身近で公平公正、透明性のある開かれた議会運営を通じて、全力で町民の負託にこたえていく所存でございます。

本年も、町民の皆さまのご意見を丁寧に向い、町議会が一丸となって、行政と活発な議論を進めて参りますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年の干支は「癸卯」。これまでの努力が花開き、実り始める」といわれ、また、「辰巳大井、午尻下がり、未辛抱、申酉騒ぐ、戌は笑い多は固まる、子は繁栄、丑はつまずき、寅千里を走り、卯は跳ねる」との格言があります。兎には跳ねる特徴があるため、景気が上向きに跳ねる、回復するといわれ縁起の良い年として知られております。格言にあやかり、国内、町内でも、景気が回復し町民皆さまに「家内安全」で、「飛躍」と「向上」の年であらんとことをお祈り申し上げます。新春のごあいさつとさせていただきます。

公職選挙法の規定により、町民の皆さまへの年賀状は失礼させていただきます。

競争入札参加資格申請が電子申請に

総務課 財政グループ ☎ 27-2481

令和5・6年度分の厚真町競争入札参加資格申請から、申請方法が一部電子申請に変わります。

変更点

建設工事等（土木、建築、電気、設計、測量など）の競争入札参加資格は、書面による申請から、一般財団法人北海道建設技術センターが提案する「市町村入札参加資格共同審査」に基づき、申請書、添付書類とともに電子申請に変更されます。

※建設工事等以外の物品購入等は、従来通り書面での申請となりますが、町内業者の方は入札参加資格審査申請書の提出は必要ありません。



詳細は町ホームページでご確認ください。

提出書類

- ・入札参加資格審査申請書
- ・各種証明書や誓約書など指定の添付書類

有効期限

令和5・6年度の2年間

受付期間

令和5年1月31日(火)まで

※受付開始時期が早まりました。

※建設工事等以外の物品購入等の申請は、原則郵便受付とします。

冬季栄養健康教室

住民課 健康推進グループ ☎ 26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

厚真町食生活改善推進協議会が主催する冬季栄養健康教室の参加者を募集します。

内容

調理実習、保健師や栄養士の講話、軽い運動

日時

1回目 令和5年2月7日(火) 9時30分～12時
2回目 令和5年2月28日(火) 9時30分～12時

場所

総合ケアセンターゆくり 2階調理室

対象

町民の方

定員

各日程とも20組

持ち物

エプロン、三角巾、運動靴

参加費

無料

申込み

令和5年1月31日(火)まで

水道凍結にご注意ください

建設課 上下水道グループ ☎ 27-2326

水道凍結を防ぐため、適切な水抜きを行いましょう。

今年も寒い時期がやってきました。毎日ニュースや天気予報を確認し、低温注意や水道凍結注意の予報が出た時は水道の水抜きを行うようにしましょう。

水道を凍結させてしまうと、水が使えなくて不便だけでなく、水道管の破裂等の原因にもなり、修理費用に多大な金額がかかる場合があります。また、厳寒期になると夜間だけでなく昼間も凍結する場合がありますので、油断しないようにしてください。



水道の水抜きは水抜き栓で行いますが、水抜き栓は家の中に複数あったり、目立たないところにあったりしますので、場所や動作状況を確認しておきましょう。

確定申告会場を開設します

苫小牧税務署 ☎ 0144-32-3165

令和4年分の所得税等の確定申告は、令和5年2月16日(木)から3月15日(水)までです。

開設期間

令和5年2月1日(水)～3月15日(水) 9時～16時
※土曜日、日曜日、祝日を除く

※上記開設期間中は、税務署の庁舎内には確定申告会場を設置していません。

会場

苫小牧市労働福祉センター2階ホール
(苫小牧市末広町1丁目15-7)

来場にあたり

- ・ご自宅で作成済みの確定申告書は、確定申告会場では提出できません。税務署へ郵送するか、税務署1階の提出窓口へ提出してください。
- ・駐車場が狭く、大変混雑しますので、来場の際は公共交通機関をご利用ください。
- ・確定申告会場の混雑を回避するため、会場への入場には入場整理券が必要です。会場当日配布もしくは国税庁LINE公式アカウントで事前発行しています。配布状況に応じて後日の来場をお願いすることもあります。
- ・ご来場の際は、マスクの着用や手指の消毒等にご協力をお願いします。
- ・確定申告会場では、スマートフォンをお持ちの方は、スマートフォンにより申告していただきます。

オンラインを活用して
新型コロナウイルス感染防止！

国税庁ホームページでは、スマートフォンやパソコンなどから、所得税・消費税・贈与税の申告書を作成し、e-Tax(電子申告)等で提出することができます。

感染防止の観点から、多くの方が訪れる確定申告会場ではなく、ご自宅での申告書の作成・提出をお願いします。

詳しくはこちら



宅地分譲のお知らせ

まちづくり推進課 復興推進グループ ☎ 27-3179
建設課 都市計画グループ ☎ 27-2451

上厚真地区(4区画)の住宅用地を分譲します。

分譲宅地

所在地	土地面積		分譲価格
	m ²	坪	
①	267.9	81.0	163万4,000円
②	267.9	81.0	163万4,000円
③	267.9	81.0	163万4,000円
④	267.9	81.0	163万4,000円

①と④の宅地内の電柱は令和5年3月までに移設予定

受付開始

令和5年1月10日(火)から

対象

5年以内に建築を予定されている方

第1期受付期限

令和5年2月8日(水)まで

※複数の申し込みがあった場合は抽選





虫歯のない子どもの表彰式

むし歯のない子どもの表彰式が11月11日と18日、総合福祉センターと厚南会館で行われ、平成30年4月2日から平成31年4月1日までに生まれた50人のうち44人が健康な歯に認定されました。

まちの話題

厚真市街地で冬の交通安全運動



厚真市街地で街頭啓発する参加者

冬の交通安全運動（11月13日～22日）にちなんだ町交通安全推進委員会主催の街頭啓発「セーフティーコールあつま」が11月11日、厚真市街地で行われました。

町内の事業所や団体、厚真高校生など85人が、歩行者の安全確保やスリップ事故と全席シートベルトの着用、飲酒運転の根絶をドライバーに呼びかけました。

厚真町社会福祉協議会（大橋正治会長）の主催で「平成30年北海道胆振東部地震災害支援感謝のつどい」が11月12日、総合福祉センターで開かれ、ボランティアや町民が久しぶりに再会して支援への感謝を伝えました。

町民吹奏楽団と厚真中学校吹奏楽部の合同演奏で開幕し、厚真郷芸保存会の和太鼓演奏などが披露されました。

また、震災後から町内で復興に向けた活動を続けている「あつまっぷる」代表の高橋康夫さん、「オフィスあつぷ・ろーど」代表の上道恵さん、「つむぎ」代表の村上朋子さんが、これまでの取り組みや今後の抱負を語りました。

胆振東部地震の災害支援に感謝伝える



合同演奏で感謝を伝える出演者たち

町が認知症徘徊搜索模擬訓練



行方不明者を見つける職員

町は11月22日、ソフトバンク（株）がスマートフォン用に提供する認知症高齢者の見守り支援サービスを使った認知症徘徊搜索模擬訓練を実施しました。

「オレンジセーフティネット」と呼ばれるアプリで、事前登録した搜索協力者が、スマートフォンの地図を使って搜索者の目撃情報などを入力し、情報を共有します。

訓練には、搜索協力者役の12人が参加。提供された行方不明者の写真を基に、2人1組で市街地を探しました。終了後、参加者から発見時の行方不明者への声の掛け方や搜索を終えたエリアが分かるように表示して欲しいといった意見が寄せられました。

苫小牧信用金庫が企業版ふるさと納税で町に1000万円を寄付

苫小牧信用金庫は11月25日、企業版ふるさとと納税制度を活用して新庁舎建て替え事業に活用してもらおうと1000万円の寄付目録を町に贈呈しました。

目録の贈呈は町長室で行われ、同信用金庫の小林一夫理事長が宮坂町長に手渡しました。小林理事長は「庁舎の建て替えプロジェクトがあると聞きました。町のシンボルとなる新庁舎の建設にあたり地域貢献したいと思い、寄付させていただくことにしました」と説明。宮坂町長は「多額の寄付に町民も喜んでおり、感謝申し上げます。後世に評価されるような庁舎にしたい」とお礼を述べました。



目録を贈呈した小林理事長



問い合わせ
胆振東部消防組合
消防署厚真支署
☎26-7119

住宅用火災警報器を設置しましょう

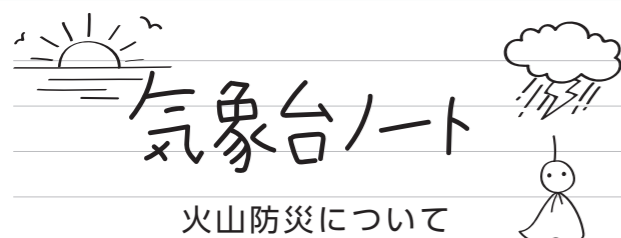
住宅用火災警報器の設置は、消防法で義務づけられています。町内の設置率は11月末時点で全世帯数の92.2%です。胆振東部消防組合消防署厚真支署では未設置の住宅への普及・促進に取り組んでいます。

設置による奏功事例

目を離した際に魚焼きグリルの残り油に引火！ 住警器の鳴動で早期発見！

魚焼きグリルでピザを焼きながら、台所を離れて自室で過ごしていた。しばらくして、住宅用火災警報器の警報音でピザを焼いていたことを思い出し、台所に行くときガスコンロのグリル付近から炎が上がっているのを発見。水道水で初期消火に成功した。

壁を1㎡焼損しましたが、最小限にとどめた事例です。人はうっかりしてしまうことがあります。うっかりから自分の命や大切な家族を守るため、住宅用火災警報器を設置・点検しましょう！！



日本に多くある火山は、きれいな景色や温泉、農作物を作るのに欠かせない良質な土壌をもたらす一方で、噴火活動によって火山災害を引き起こし私たちに被害をもたらすことがあります。火山災害を引き起こす主な火山現象には「大きな噴石」、「火砕流」や「融雪型火山泥流」などのほかに「火山灰」があります。

火山灰は比較的細かな固形物（直径2mm未満）で、火口周辺に限らず上空の風に運ばれて遠方の広い範囲まで拡散し、その量によって農作物、交通機関、建造物などに被害をもたらすことがあります。樽前山の過去の大規模噴火では、苫小牧北方で約2m、十勝平野でも数cmに達したという記録が残っています。

気象庁では、これら火山災害軽減のため、「火山

防災のために監視・観測体制の充実等が必要な火山」として選定された50火山については、噴火の前兆を捉えて噴火警報等を的確に発表するために、火山観測施設を整備し火山活動を24時間体制で常時監視するとともに、全国111の活火山を対象として、観測・監視・評価の結果により噴火警報を発表しています。

噴火警報は、噴火に伴って生命に危険を及ぼす火山現象（大きな噴石、火砕流、融雪型火山泥流等）の発生が予想される場合やその危険が及ぶ範囲の拡大が予想される場合に、「警戒が必要な範囲」を明示して発表しています。また、どこにどれだけの量の火山灰が降るかをお伝えする降灰予報を発表しています。

これらの火山に関する情報や活動状況の資料は、気象庁ホームページの登山者向けの情報提供ページなどで個々の火山毎にご覧いただけますのでご利用ください。

気象庁ホームページ
火山登山者向けの情報提供ページ



問い合わせ 室蘭地方気象台 ☎0143-22-4249



防災のページ

問い合わせ 総務課 防災グループ ☎27-2481

「北の災害食」レシピの紹介

経験された方もいると思いますが、電気・ガス・水道などライフラインが途絶えた状態での避難生活は、災害非常食、カップラーメンやおにぎりなどの支援物資を食べるだけでは、栄養の偏りや飽きからくる食欲減退など身体だけではなく、心にも影響をおよぼします。

「非常食」ではなく、手に入れやすい食材を活用して作る、できる限り日常の食事に近い「災害食」が必要といわれています。

今回は、北海道主催の「北の防災食(北海道らしい災害食)レシピコンテスト」、アレルギー対応食部門作品の中から、札幌市長賞を受賞した作品を紹介します。

北の防災食レシピコンテスト(アレルギー対応食部門) 札幌市長賞

みんなであったか ツナ味噌雑炊 考案者：川合由希恵さん(札幌市)

冬の災害を乗り越えるため、「あたたかく」「水分をしっかりとり」「栄養バランスのいい」食事を考えました。卵や牛乳のアレルギーのある子ども、お年寄りも、赤ちゃんも、みんなで一緒に食べられるレシピです。

当たり前の日常を失った災害時において、体だけでなく心の支えにもなるように「いつもの味」を大切にしました。わが家には、アレルギー持ちの2歳児と、まだ離乳食の0歳児がいます。災害時でもみんなで寄り添って一緒に食べたいアツアツの一品です。



材料(4人分)

- パックごはん・・・2個(400g)
- ジャガイモ・・・1～2個(200g)
- タマネギ・・・1個(150g)
- ニンジン・・・小1本(160g)
- ツナ缶・・・小1缶(70g)
- アレルギー対応の味噌・・・大さじ1と小さじ1(24g)
- かつおぶし・・・小1袋(2g)
- 飲料水・・・600ml

- ①飲料水とパックご飯を鍋に入れる。
- ②ジャガイモを5mmくらいの角切り、玉ねぎを細切りにして鍋に入れてから、ニンジンを鍋に直接すりおろし、ツナ缶を入れて加熱する。
- ③野菜に火が通るまで煮たら、みそを入れる。
- ④お皿に盛り付け、かつおぶしを散らしてできがり。

栄養価(1人分) エネルギー 295kcal / 水分 300.1g / たんぱく質 8.2g / 脂質 4.6g
炭水化物 54g / 食物繊維 2.9g / 食塩相当量 0.9g

料理のコツ・ポイント

小さく切る、すりつぶすことで、「時短」になり、食べやすい雑炊ができる。

レシピはホームページからもご覧いただけます。



北海道防災情報



クックパッド



▼家庭クラブが優秀賞(10月18日)

第71回北海道高等学校家庭クラブ連盟研究大会で、本校の家庭クラブが優秀賞を受賞しました。「みんなでサポートー!」をテーマに「支え合う社会のために」と題し、手話の実践や災害時における要支援者のサポートなど、福祉の授業を通して行われたことが評価されました。



家庭クラブ

▼2年生の進路ガイダンス(11月17日)

株式会社リクルートの坪山さんを講師に招き、2年生対象の進路ガイダンスを開きました。演題は「未来に向けて今できること」。これからの進路選択をどのように考えるのかを知り、生徒自身に自ら考え行動してもらおうことで、来年度の進路決定につなげたいと考えています。



厚真人インタビュー



セーフティーコールあつま

「ド」を作り、インタビューを介して見つけたことや考えたことを記録します。

▼1年生がセーフティーコールあつまに参加(11月11日)

1年生が参加して、厚真市街地で町民と一緒に「冬の交通安全」の啓発活動を行いました。道路沿いに並び、大きな旗を掲げたり手旗を振って、ドライバーに安全運転をアピールしました。特に、冬の時期は路面状況が悪化します。歩行や車の運転には十分に気を付けましょう。

一会社の事業について教えてください

代表的な事業として、高丘地区にある200haのゴルフ場跡地を放牧和牛の生産地として整備しています。そこで生産する畜産物を見て、食べて、学んで、楽しんでいただきながら商談も出来る複合施設のオープンに向け、準備を進めています。畜産だけでなく、農産物など北海道の広大な土地で生まれる資源を活用する循環型ビジネスの構築も目指しています。

一厚真町に来ようと思ったきっかけは?

これまで不動産ビジネスに携わってきて、地方の土地の価値を上げることへの課題を感じていました。農業や畜産業を通じて、土地の付加価値の向上にも取り組んでいる同社の事業に魅力を感じました。地域の資源を生かした新しい不動産開発に挑戦したいと思い、移住を決めました。

一3年後の目標は?

高丘地区での事業を軌道に乗せることです。厚真町にビジネスを定着させて継続していくための基盤づくりの期間にしたいです。各種企業が、ビジネスを通じて町との関係人口になることで、地方創生の新しいモデルが出来たらいいなと思っています。夏には、サーフィンに挑戦したいです。

現在活動している協力隊 (12月11日現在)

- 農業支援員▷9人 教育魅力化支援員▷3人
- 起業型▷6人 協働型▷15人



協働型地域おこし協力隊
ただの ひろゆき
只野 宏幸さん

着任: 令和4年10月(1年目)
出身: 東京都板橋区

一これまでの経歴について教えてください。

早稲田大学を卒業後、三菱地所株式会社へ入社し、タワーマンションの開発プロジェクトマネジメントや複合ビルの開発、まちづくりコンセプトの策定などを担当しました。令和元年からは北海道エアポート株式会社へ出向し、北海道の空港民営化に向けた新会社の立ち上げや経営企画、経営改革などを担当しました。

一厚真町では何をしていますか?

町内のGOODGOOD株式会社で、経営企画を担当しています。現在準備を進めている事業の資金計画や事業計画を策定しつつ、資金調達や投資営業を行っています。今までのキャリアを生かして、大企業との事業連携の実現を目指しています。

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します!



協働型地域おこし協力隊
しまざき たかひろ
島崎 貴裕さん

着任: 令和4年7月(1年目)
出身: 東京都足立区

一これまでの経歴について教えてください。

中学生のころに観た「キャッチ・ア・ウェーブ」という映画がきっかけでサーフィンを始めました。プロサーファーを目指し、サーフィン部のある千葉県の文理開成高校に進学しました。卒業後は、サーフィンの大会に出場しながら父が営む印刷業を手伝いました。このほか、飲食店や不動産業、営業職なども経験しました。

一厚真町でどんな活動をしていますか?

町内でサーフボードやウェットスーツなど関連グッズの販売、サーフィンの体験レッスンを行っているサーフショップ「タクーサーフ」で働いています。主に中級者向けにサーフィンのコーチングをしながら、新規事業を立ち上げる準備をしています。具体的には、山のトレッキングガイドやスキーガイド、北海道内のサーフポイント

トを案内するガイド業を始めようと考えています。ガイド業に必要な資格の取得に向けた勉強や必要な道具を調達しています。

一厚真町に来ようと思ったきっかけは?

サーフィン大会への出場を辞めたあとに写真の撮影に目覚め、日本の四季を撮るために全国を回りました。次第に雄大な自然の中でサーフィンがしたい、スノーボードもしたい、四季の風景を写真に残したいとの思いが募りました。北海道には、そのやりたいことが全部そろっているので移住を決めました。

一厚真町の印象を教えてください。

野菜がとても美味しいです。これまであまり野菜を食べませんでしたが、厚真に来てから野菜が好きになりました。町には多種多様な人がいて、面白い町だと思います。

一3年後の目標は?

現在の中級者サーファー向けのサーフィンコーチング事業をしっかり軌道に乗せたいです。厚真を拠点にして、海と山のアドベンチャーツーリズムを実現するために、登山ガイドステージ2の合格を目指しています。また、サーフィン以外にも使えるウェットスーツの製造事業や写真展にも挑戦したいです。

よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。

「苦手」は「嫌い」?

「よりみち学舎」に通う厚高生の中には、中学校時代に文科系の部活動に所属していた生徒もいます。「運動が苦手だから」という理由で部活動を選んだ生徒も少なくありません。公営塾の生徒を見ていると、一概に「運動が苦手=嫌い」ではないようです。苦手意識について考えました。

厚真高校では、体育大会や屋内体育大会など、年4回の体育行事の中でバレーボール競技が2回行われます。このため、放課後になると学校の体育館やスポーツセンターでバレーボールを練習する生徒も多く、私たちと一緒に汗を流すことがあります。「ミスばかりしてしまうから」や「サーブだけでも入るようにしたい」と、当初は消極的な理由で練習していました。しかし、最近では、「サーブを上から打ちたい」とか「上手になっていくことが楽しい」など、上達したいという積極的な理由へと変わっています。

運動に限らず、人にはそれぞれ得手不得手があり、上達するスピードは異なります。嫌いではないけど、苦手だという意識でチャレンジを足踏みする生徒も少なくありません。

「よりみち学舎」では、生徒それぞれのペースと個性に合わせて苦手なことを得意に、得意なことはより得意になるようにしたいと考えています。教育魅力化支援員は、生徒に向き合い新たなチャレンジ精神が芽生えるようにサポートします。


教育魅力化支援員 山中卓也



町民と一緒にバレーボールの練習に汗を流す厚高生



こどもの予防接種

接種日	未就学児	水曜日	14時～15時(この時間は一般診療休み)	予防接種専用サイト 
	小学生～19歳	月・金曜日	9時～12時、14時～17時	
予約/受付接種場所	あつまクリニック ☎27-2422 京町15 前の週の金曜日までに予約が必要です(予約受付時間: 9時～12時、15時～17時)			
持ち物	母子健康手帳、予診票			

予約時は、予防接種専用サイトで接種対象であるかどうかを確認してください。専用サイトと母子健康手帳の接種履歴に相違がある場合などは、住民課健康推進グループ(保健師)までご連絡ください。

	対象者	標準的な接種期間と回数
ロタウイルス(1価)	生後6～24週未満	27日以上あけて2回 ※1回目は14週6日までに接種
B型肝炎	生後2カ月～1歳未満	(初回)27日以上あけて2回 (追加)1回目終了後から20週以上あけて1回
ヒブ	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上あけて3回) (追加)初回後7～13カ月あけて1回
小児肺炎球菌	生後2～60カ月未満	(初回)生後2～7カ月未満(27日以上あけて3回) (追加)生後12～15カ月未満(初回後60日以上あけて1回)
四種混合 (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)	生後3～90カ月未満	(初回)生後3～12カ月未満に20～56日あけて3回 (追加)初回後12～18カ月あけて1回
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満	11歳で1回
BCG	生後5カ月～1歳未満	生後5～8カ月未満に1回
MR混合 (麻しん・風しん)	(1期)生後12～24カ月まで (2期)年長児相当(就学前の1年間)	1期、2期ともに1回
水痘(水ぼうそう)	生後12～36カ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外	(初回)生後12～15カ月未満に1回 (追加)初回後6～12カ月あけて1回
おたふくかぜ(任意)	1歳以上 ※すでに罹患済みの場合は対象外	1歳以上で1～2回 ※町独自助成により1～3歳までの初回1回のみ無料
日本脳炎	(1期)生後6カ月～7歳6カ月未満 (2期)9～13歳未満 ※特例対象者は20歳未満まで接種可	(1期初回)3歳:6～28日あけて2回 (1期追加)4歳:1期初回終了後約1年あけて1回 (2期)9歳:1回
HPV (ヒトパピローマウイルス) (4価)	小学校6年生～高校1年生相当の女子	中学1年生で3回 (2回目)2カ月以上あけて2回 (3回目)1回目から6カ月以上あけて1回

2月の日曜・祝日当番医 診療時間: 9時～17時

日程	診療科	病院名	住所(苫小牧市)	電話(0144)
5日	内科系	苫小牧呼吸器内科クリニック	双葉町3-7-3	35-0002
(日)	外科系	にしん泌尿器科クリニック	日新町2-6-43	71-1100
11日	内科系	加藤胃腸科内科クリニック	緑町2-5-20	35-2125
(土祝)	外科系	苫小牧泌尿器科・循環器内科	明野新町2-1-12	57-0455
12日	内科系	うとないキッズクリニック	北栄町1-22-36	53-8080
(日)	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	36-1221
19日	内科系	とまこまいこどもクリニック	住吉町1-2-8	33-1050
(日)	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	72-7000
23日	内科系	桜木ファミリークリニック	桜木町2-25-1	71-2351
(木祝)	外科系	ハート整形ペインクリニック	三光町2-5-3	38-7000
26日	内科系	苫小牧消化器外科	北栄町3-5-1	51-6655
(日)	外科系	苫小牧消化器外科	北栄町3-5-1	51-6655

※医療機関が変更になる場合があります。病院や新聞などで事前に確認してください。

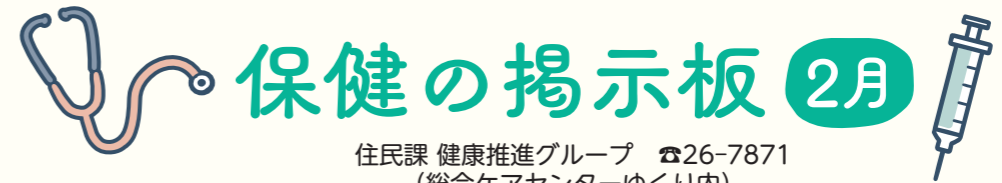
苫小牧市夜間休日急病センター

夜間・休日は急病センターも診療を受け付けています。

診療科目	内科・小児科
住所	苫小牧市旭町2-9-2
電話	0144-32-0099
平日	19時～翌朝7時
診療時間	土曜日 14時～翌朝7時
休日	9時～翌朝7時

北海道救急医療・広域災害情報システム

近くの医療機関などが検索できます
<http://www.qq.pref.hokkaido.jp>
☎0120-20-8699
☎011-221-8699(携帯・PHSから)



住民課 健康推進グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

健診・検診・相談・教室など

乳児健診

対象 ①令和4年8月17日～令和4年11月15日生まれのお子さんと保護者
②令和4年2月17日～令和4年5月15日生まれのお子さんと保護者

とき 2月15日(水) ※個別にご案内します。

ところ 総合ケアセンターゆくり

持ち物 母子健康手帳、バスタオル、アンケート、歯ブラシ(②のみ)

献血

とき 1月27日(金)
9時30分～11時30分、13時～16時30分

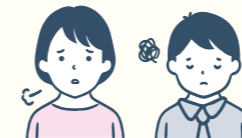
2月6日(月)
9時30分～11時

ところ 総合ケアセンターゆくり

厚南会館

こころの相談

「気持ちが落ち込む」などのこころの健康や子育ての悩みを抱える親御さんの相談に臨床心理士が応じます。



とき 1月20日(金)、2月17日(金)
10時～15時(1人あたり50分程度)

ところ 総合ケアセンターゆくり

申し込み 1週間前までにお申し込みください
(住民課 健康推進グループ)

保健所の相談

問い合わせ 苫小牧保健所 ☎0144-34-4168

相談・検査の名称	日程
女性の健康相談	
妊娠、出産、子育てなど女性の心身の相談	2月20日(月)
肝炎ウイルス検査	
感染が疑われる方は無料(要事前確認)	2月7日(火)
骨髄バンク登録	
登録の基準があります	2月7日(火) 2月21日(火)
HTLV-1抗体検査	
検査日の20日前までに予約してください	2月21日(火)
HIV検査(エイズ相談)	
無料、匿名検査(要事前確認)	下記に確認
エイズ専用電話 ☎0144-35-7474	

新型コロナワクチン

接種対象者が変更になる場合があります。
最新の内容はホームページをご覧ください。

生後6カ月～4歳

{使用するワクチン} ファイザー社生後6カ月～4歳用ワクチン
※接種を希望される方は、住民課健康推進グループまでご連絡ください。

5～11歳

{使用するワクチン} ファイザー社5～11歳用ワクチン
※5歳の誕生日を迎えた方で接種を希望される方は、接種券の交付申請が必要です。

苫小牧市の医療機関でも接種が可能です。事前に下記へ電話し、必要事項を登録後に医療機関へ予約します。
【とまこまいコロナワクチンコールセンター ☎0144-82-9660】
詳しくは、苫小牧市ホームページをご覧ください。

12歳以上

{使用するワクチン}
初回接種(1、2回目): ファイザー社ワクチン
追加接種(3～5回目): オミクロン株対応2価ワクチン
※オミクロン株対応2価ワクチンは、初回接種(1、2回目)を完了した方で、最終接種日から3カ月以上経過した12歳以上のすべての方が1人1回接種できます。
※12歳の誕生日を迎えた方で接種を希望される方は、接種券の交付申請が必要です。

厚真町へ転入された方

厚真町へ転入された方でお手元に接種券が届かない方は、接種券の交付申請が必要です。



新型コロナワクチン
インターネット予約は
こちらから



子育て支援センター

2月のよてい

申し込み・問い合わせ・予約・相談

厚真子育て支援センター ☎27-2438 京町152(こども園つみに併設)
厚南子育て支援センター ☎28-3155 上厚真258-7(宮の森こども園に併設)
※講座などの申し込みは会場となる子育て支援センターまで

子育て講座 応急手当講座
内容：誤飲や転落など、お子さんのもしもの事故に備えます
日時：2月16日(木) 10時～11時
場所：厚真子育て支援センター
定員：7組
申し込み：2月9日(木)まで

子育て講座 子育て講座 青竹ビクス
内容：青竹を使って体をほぐしましょう
日時：2月21日(火) 10時～11時
場所：厚南子育て支援センター
持ち物：タオル・飲み物・動きやすい服装
定員：7組
申し込み：2月14日(火)まで

Hello えいご・えいごであそぼう 10時～10時30分
隔月、各センターで、ALTの先生と遊びを通じて英語に触れる事ができます。開催日は情報誌をご覧ください。

・自由開放 ・子育て相談(※要事前連絡)…月曜～金曜日 9時～12時、13時～15時
・サークル活動(※予約制)…月曜～金曜日 13時～15時

まちのアイドル

しだ すみれちゃん

よしのう たいしくん

3歳以下のお子さんの写真を募集しています。住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。〈メール〉kikaku@town.atsuma.lg.jp

こぶしの湯 あつま

問い合わせ こぶしの湯あつま ☎26-7126

イベントカレンダー 2月

日	月	火	水	木	金	土
			1 高齢者券	2 3倍 レディース	3	4
5 ちびっこ	6 3倍	7 メンズ	8 高齢者券	9 レディース	10	11
12 3倍 ちびっこ	13 シルバー	14 メンズ	15 2倍 高齢者券	16 3倍 レディース	17	18
19 ちびっこ	20 シルバー	21 メンズ	22 3倍 高齢者券	23 レディース	24	25 町民の日
26 風呂の日	27 シルバー	28 メンズ				

毎週日曜▷ちびっこデー：小学生はサービス券2枚
毎週月曜▷シルバーデー：65歳以上はあつまるカードポイント3倍
毎週火曜▷メンズデー：男性はサービス券2枚
毎週水曜▷高齢者無料入浴券の日：町交付の無料入浴券ご利用でヘルシーセットが750円→550円
毎週木曜▷レディースデー：女性はサービス券2枚
最終金曜▷町民の日：誕生月の町民はレストラン利用で入浴無料
毎月26日▷風呂の日：あつまるカードポイント3倍、サービス券2枚

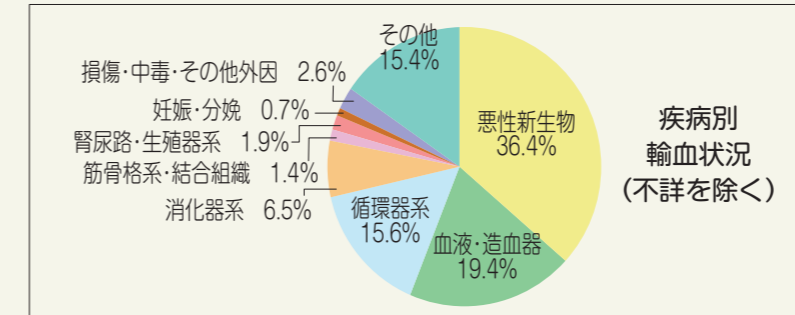
・2と6のつく日はあつまるカードポイント3倍
・5のつく日は町交付の無料券利用であつまるカードポイント5倍



健康情報

今月のテーマ
あなたの今日が、だれかの明日に
1月・2月は献血月間です

献血にご協力を！
成人体重の約13分の1を占める血液は、栄養や酸素の運搬、免疫など人間の生命を維持するために欠かせないものです。
血液製剤とは、人の血液または血液から得られた物を有効成分とする医薬品のことです。輸血用血液製剤と血漿分画製剤に分かれます。多くの患者の病気の治療に使用されている血液製剤は、献血で提供された血液から作られています。血液は人工的に作る事ができず、長い間保存することもできません。また、献血者の健康を守るため、1人あたりの年間の献血回数や献血量には上限があります。そのため、安定的に血液製剤を届けるためには、多くの方の協力が必須です。
献血は身近にできる大きな社会貢献です。この機会にぜひ、献血に行きませんか？



かすことのできない治療法となつていきます。
輸血という、けがなどの不慮の事故で使われるイメージがありますが、輸血を必要としている人の多くは、がん(悪性新生物)の患者さんです。皆さんの献血は、さまざまな疾病を持つ患者さんの明日につながります。(令和2年東京都輸血状況調査集計結果より)

献血で提供された血液でつくられる「くすり」
献血された血液は、血液型やウイルスなどの有無を調べた後、赤血球や血小板、血漿の成分ごとに、目的に合わせた血液製剤になります。輸血に使われる輸血用血液製剤は、献血された血液のおよそ半分で、残りの半分は医薬品をつくるために使われています。
献血にはどんな種類があるの？
献血には、全血献血と成分献血があります。全血献血には400ml献血と200ml献血があり、血液中のすべての成分を献血する方法です。一方、成分献血は、血小板や血漿といった特定の成分だけを採血し、体内で回復に時間のかかる赤血球は再び体内に戻す方法です。成分献血は、献血者の身体への負担も軽いつつ、献血の利便性も高いという特徴があります。人の血液は、たとえ血液型が同じでも微妙に違います。このため、一人の患者さんに使われる輸血用血液製剤が、より少ない人数の献血によってまかなわれていけばいいほど、輸血後の副作用(発熱、発疹など)

令和4年度第3回の献血を実施します

とき 1月27日(金) 総合ケアセンターゆくり
2月6日(月) 厚南会館

献血の種類 400ml献血

対象年齢 男性で17歳～69歳、女性で18歳～69歳
※65歳以上の方は、60歳から64歳までの間に献血をした方に限る

詳細は、14ページ「保健の掲示板」でご確認ください。

発生の可能性が低くなり、日本赤十字社では、輸血を受ける患者さんへの安全性をより向上させるために、輸血基準を満たした方には400ml献血、成分献血の協力を呼びかけています。

情報ひろば



マイナンバーカードの申請は年内に

**マイナポイントを受け取るには
12月31日までにマイナンバーカードの申請が必要です。**

住民課町民生活グループの窓口では、マイナンバーカード申請のお手伝いをしています。
必要な書類は、12月9日発行のチラシをご確認いただくか、事前にお問い合わせください。
※28日までの月曜、水曜、金曜日に午後8時まで窓口の受付時間を延長しています。

窓口での年内申請期日は12月29日(木)17時30分まで 住民課 町民生活グループ ☎26-7871

町税・保険料 今月の納期

科目	国民健康保険料(第4期) 後期高齢保険料(第4期)
納期	1月31日(火)

問い合わせ
住民課町民生活グループ ☎26-7871

運転免許証 更新時講習

2月

苫小牧市交通安全センターで行っている
運転免許証更新時講習(優良)の日程をお
知らせします。
この他の講習日程(一般、違反、初回)
については、下記までお問い合わせくだ
さい。

10時30分~11時
2日(木)、3日(金)、8日(水)、9日(木) 10日(金)、14日(火)、16日(木)、17日(金) 20日(月)、24日(金)、28日(火)
13時30分~14時
7日(火)、15日(水)、21日(火)、27日(月)

(一社)苫小牧地区交通安全協会
☎0144-33-1458

まちの善意

町への寄付
苫小牧信用金庫さん 現金1千万円

調理師の皆さまへ
調理師として働いている皆さんは、
調理師法により届け出が義務づけら
れています。
届け出は、1月15日(日)までに調
理師業務従事者届を北全調苫小牧支
部または苫小牧保健所へ提出してく
ださい。
北海道のホームページからも届け
出を行うことができます。

問い合わせ
北全調苫小牧支部(☎0144-
3213545)、苫小牧保健所(☎
0144-3414168)

対象者
障がいのある求職者
北海道障害者職業能力開発校
令和5年度訓練生を募集

訓練科目
建築デザイン科・CAD機械科・
総合ビジネス科・プログラム設計科・
総合実務科

願書受付期間
①1月16日(月)まで
②1月17日(火)~2月17日(金)
③2月20日(月)~4月3日(月)
※選考の結果、募集に達した訓練
科は、応募受付を締め切ります。

選考試験日
①1月23日(月)
②3月1日(水)
③4月7日(金)

選考場所
北海道障害者職業能力開発校(砂
川市焼山60番地)

試験内容
学力試験(国語、数学)、面接試験

問い合わせ
最寄りのハローワークまたは北海
道障害者職業能力開発校(☎012
515212774)

**手紙を守るための
ルールがあります**
手紙やはがきなどの信書は、原則
として、日本郵便株式会社および信
書事業者だけが取り扱うことがで
きると定められています。宅配便や
メール便では、原則として信書の送
付はできません。

問い合わせ
総務省情報流通行政局郵政行政部
郵便課(☎03-5525335975)



放課後児童クラブ(学童保育)

放課後子ども教室

令和5年度 利用者登録開始

教育委員会生涯学習課 社会教育グループ(青少年センター内) ☎27-2495

- 対象
小学校1~6年生
- 募集期間
12月23日(金)~令和5年1月20日(金)
- 開設期間
小学校の授業日▶下校時~18時30分
土曜日・学校休業日▶8時30分~18時30分
※日曜日、祝日、12月30日~1月4日を除く
- 提出書類
①登録申請書 ②個人票
※各書類は各小学校を通じて配布するほか、各児童クラ
ブにもあります。町ホームページからもダウンロード
できます。新入学児童は、こども園または郵送で配布
します。
※令和4年度に登録しているお子さんも改めて申し込み
が必要です。
- 実費負担金
1カ月600円/1人
- 申し込み
・教育委員会生涯学習課社会教育グループ(青少年センター内)
・上厚真支所 ・各放課後児童クラブ

放課後児童クラブと放課後子ども教室の登録申請書は共通です。
放課後子ども教室の実施日・時間については町ホームページをご覧ください。





幌内神楽保存会 会長
 さとう かつしげ
 Vol.33 佐藤 勝重さん

五穀豊穡や厄払い、住民の安全などを願った幌内神楽。4代目会長の佐藤さんは「歴史と伝統を継承する思いに曇りはありません」と話しました。保存会設立50年の11月14日には、北海道文化財保護協会から道文化財保護功労者表彰という名誉ある賞も受賞しました。獅子頭を操る佐藤さんを訪ね、幌内神楽への思いなどを伺いました。

“守り神の舞い”で町民を元気に

幌内神楽の歴史は、明治時代にさかのぼります。厚真町史によると、明治28年5月に岩手県出身者が入植し、山で働く人が遠くふるさとを離れた寂しさを紛らわせるために獅子頭（重さ約50kg）を作り、同40年に幌内神社が建立されて奉納されたと伝えられています。その後、昭和47年に幌内神楽保存会を設立。本家の岩手県で舞いの研修を受け、今日の礎を築きました。保存会歴40年の佐藤さんは、初めて獅子頭を手にした時に「こんなに重いのか。見た目と違い体力が必要だ」と驚きました。会員は10人、平均年齢は50歳を超えます。笛や太鼓などのパートがあり、田舎まつりを筆頭に幌内地区の祭りなどで演奏します。本番が近づくと、週末を中心に全員が集まり、収録した映像で足の運びや腰の位置などを確認し、力強さとしなやかさに磨きをかけます。「年に数回の発表なので、時間が空くと所どころ忘れてしまいます。先

輩の教えを思い出し、演者の呼吸を合わせながら躍動感ある神楽を体現しています」。約20分の演目でフラフラになりますが、成し遂げた充実感が疲労を吹き飛ばします。

秋祭りでは、無病息災を願って幌内地区で獅子が個別訪問していました。コロナ禍にあっても、住民から「今年は来ないのかい？」や「足が悪くなったから、獅子さんにかんで欲しいんだ」との声も寄せられます。地域とのつながりも垣間見ました。佐藤さんは、先輩を招いて今回の受賞のお祝いを考えています。「皆さんの協力で今日があります。喜びを分かち合い、受賞を励みに継続の使命感を共有したいのです」。

目が輝きました。「元日の時報を合図に、幌内神社で町の安寧を祈願して踊りたいと思っています」。コロナ禍の収束や震災復興5年への想いを神楽に込めるつもりです。